

## 2-3. 分布調査

### 2-3-1. うるま市喜仲地区周辺における分布調査

#### (1) 目的

グリーンアノールは那覇市や豊見城市のある一定の地域に高密度に生息しているが、沖縄島の北部や中部においても本種の目撃情報が寄せられていることから、目撃情報が寄せられた周辺部においては粘着トラップによる調査を行い、分布状況の把握に努めている。

平成 31 年度、うるま市喜仲において目撃情報をもとに調査を行った結果、本種の生息が初めて確認されことから今年度は広域的な分布調査を行った。

#### (2) 平成 31 年度調査

2019 年、一般の方からうるま市喜仲における目撃情報が寄せられた。情報をもとに同年 10 月に踏査を行ったところ民家の庭木でメス成体と思われる 1 個体が目視で確認された（写真 2-3-1.1）。目視確認を受け、周辺民家の方に協力いただき、10 月 23 日に庭木等に粘着トラップを設置し、捕獲調査を開始した。その結果、目視確認とは別の民家の庭木で 1 個体が捕獲された（表 2-3-1.1、写真 2-3-1.2）。

また、近くの市道の街路樹では、市の設置許可後の 11 月 5 日から粘着トラップを設置したが、街路樹での捕獲はなかった。



写真 2-3-1.1 目視による確認状況（2019 年 10 月 16 日）

表 2-3-1.1 平成 31 年度グリーンアノール捕獲結果

わな設置地点	わな数	アノール捕獲数	TD	CPUE
街路樹	94	0	1,504	0.000
民家	57	1	855	0.117
総計	151	1	2,359	0.042



写真 2-3-1.2 民家における粘着トラップ捕獲状況

### (3) 1 kmバッファー調査

#### a) 調査方法

平成 31 年度にグリーンアノールが確認された地点から半径 1km のバッファー圏内の県道市道の街路樹及び公園 5 箇所に粘着トラップを設置した。トラップの設置は 5 月中旬に行い、街路樹に 691 台、公園に 200 台の計 891 台のトラップを設置した。トラップの周辺には注意喚起ラベルを設置し、目立つ場所については看板を設置して誤って触らないようにした。

トラップの点検は設置した約 2 週間後(6 月上旬)に実施し、さらにその 2 週間後 (6 月下旬) に 2 回目の点検を行い、その際トラップをすべて撤去した。

#### b) 調査結果

グリーンアノールは 34,047TD をかけ 1 個体 (CPUE : 0.003) が捕獲された (表 2-3-1.2)。平成 31 年度に確認された地点より南東側に 1km 程度離れた県道の街路樹での捕獲となった。捕獲された地点の南側には約 6.4ha の大きな森林があり、グリーンアノールが生息可能な喜屋武マープ公園があったが、そこでの捕獲はなかった。また、捕獲された街路樹のすぐそばに資材置場 (写真 2-3-1.3) があったことから、捕獲された個体は工事車両等によって運ばれてきた可能性も考えられた。

表 2-3-1.2 グリーンアノール捕獲状況

6月	捕獲数	TD	CPUE
1回目	0	14,400	0.000
2回目	1	19,647	0.005
計	1	34,047	0.003



写真 2-3-1.3 街路樹における捕獲環境及び周辺環境

#### (4) 広域メッシュ調査

##### a) 調査方法

1 kmバッファー調査により街路樹にて 1 個体が捕獲されことをうけ、分布を把握するために、さらに広範囲で粘着トラップによる調査を実施した。

平成 31 年度及び今年度に捕獲された地点を中心に 3 次メッシュ地図を作成し、メッシュ内の街路樹及び市内公園 13 地点に広範囲で粘着トラップを設置した。調査対象メッシュは計 10 メッシュとなったが、すべてのメッシュを同時に調査するのは労力的に困難であるため、6 月の調査で捕獲された地点に隣接するメッシュを最優先し、次に公園の多いメッシュ、最後に緑地環境の多いメッシュの順で 3 回にわけて調査を実施した。

トラップは 1 メッシュ当たり 200 台程度とし、合計 1,789 台のトラップを設置した。点検は約 2 週間ごとに計 3 回実施し、3 回目の点検終了時にすべて回収した。

##### b) 調査結果

8 月から 9 月に 1 回目調査として 32,597TD、2 回目調査として 9 月から 10 月に 28,007TD、3 回目調査として 10 月から 12 月に 38,428TD の合計 99,032TD をかけたが、グリーンアノールの捕獲はなかった (表 2-3-1.3)。

表 2-3-1.3 メッシュ調査結果

	調査月	調査メッシュ数	トラップ数	捕獲数	TD	CPUE
1回目	8・9月	4	600	0	32,597	0
2回目	9・10月	3	594	0	28,007	0
3回目	10・11・12月	3	595	0	38,428	0
合計		10	1,789	0	99,032	0

## (5) うるま市学校内における捕獲調査

### a) 調査方法

うるま市のグリーンアノール確認地点周辺に位置する具志川中学校、具志川高校、高江洲中学校の3校にて粘着トラップによる調査を実施した。当初はうるま市民家でのトラップ調査を予定していたが新型コロナウイルスによる影響を考慮し、予定を変更して学校敷地内の樹木にトラップを設置し調査を行った。

トラップの設置は8月下旬及び9月上旬に行い、具志川高校に132台、具志川中学校に66台、高江洲中学校に33台の計231台を設置した。点検は約2週間おきにそれぞれ計5回実施した。トラップは点検最終日にすべて回収した。

### b) 調査結果

具志川高校で12,012TD、具志川中学校で6,204TD、高江洲中学校で3,003TDの総計21,219TDをかけたが、グリーンアノールの捕獲はなかった(表2-3-1.4)。

表 2-3-1.4 学校点検結果

点検	具志川高校			具志川中学校			高江洲中学校			合計		
	捕獲	TD	CPUE	捕獲	TD	CPUE	捕獲	TD	CPUE	捕獲	TD	CPUE
1回目	0	1,716	0	0	1,056	0	0	429	0	0	3,201	0
2回目	0	2,508	0	0	1,254	0	0	627	0	0	4,389	0
3回目	0	2,772	0	0	1,386	0	0	693	0	0	4,851	0
4回目	0	1,980	0	0	990	0	0	495	0	0	3,465	0
5回目	0	3,036	0	0	1,518	0	0	759	0	0	5,313	0
合計	0	12,012	0	0	6,204	0	0	3,003	0	0	21,219	0

## (6) うるま市トラップ調査まとめ

今年度は1kmバッファー調査、広域メッシュ調査、学校調査と6月から12月にかけて総計2,911台のトラップを設置し、計154,379TDをかけたが、1kmバッファー内での1個体のみの捕獲となった(表2-3-1.5、図2-3-1.1)。このことから、現段階では、うるま市喜仲地区の周辺において広域的にグリーンアノールの分布が広がっている可能性は低いと考えられる。

表 2-3-1.5 令和2年度うるま市トラップ調査まとめ

調査項目	調査月	トラップ数	捕獲数	TD	CPUE
1kmバッファー内	6月	891	1	34,128	0.003
メッシュ調査	8月～12月	1,789	0	99,032	0
学校調査	9～12月	231	0	21,219	0
合計		2,911	1	154,379	0.001

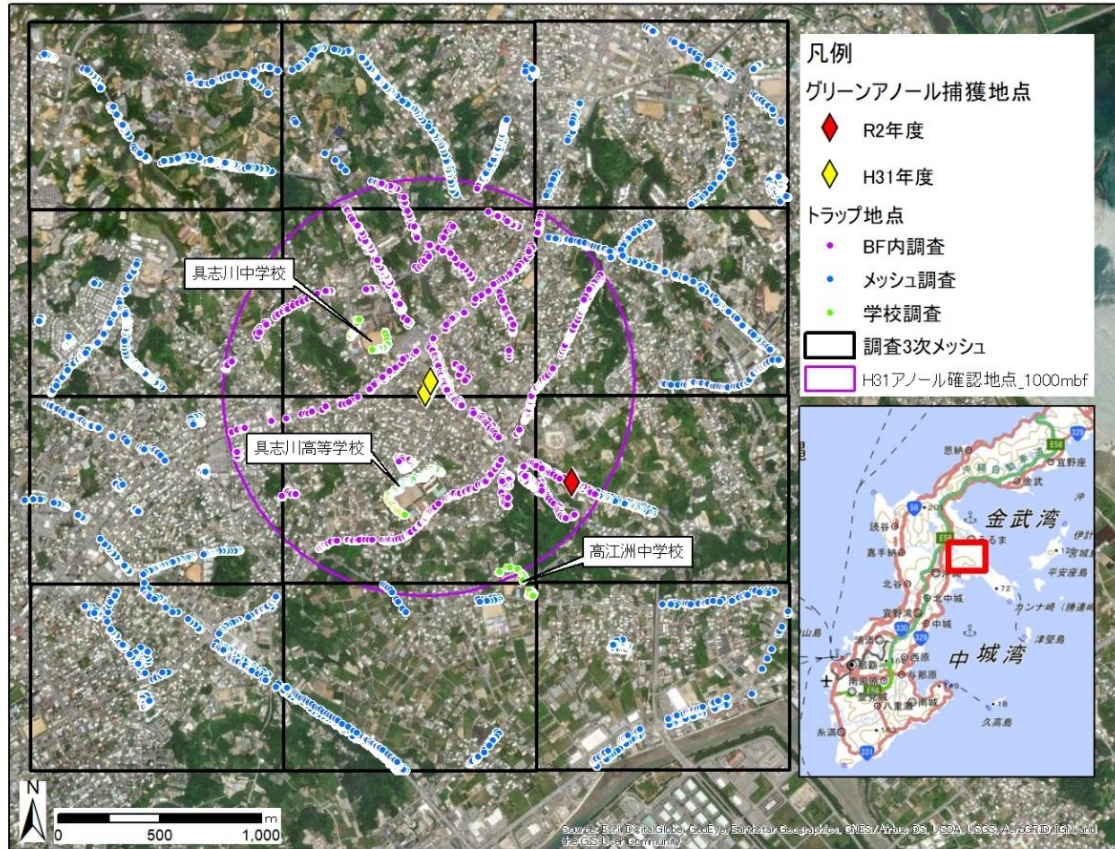


図 2-3-1.1 R2 年度うるま市調査全地点

## (7) うるま市における普及啓発活動

### a) 目的

うるま市においては今のところグリーンアノールの生息密度は高くなく、周辺住民のグリーンアノールの認知度も低いと考えられる。また、うるま市は沖縄島中部に位置するため、この地域で繁殖し高密度となってしまった場合さらに分布を北上させる危険性が高いため、早急な対策が必要である。そこで、チラシ、ポスター、アンケートを配布し、周知活動及び目撃情報の収集を行った。

### b) 方法及び目撃情報

うるま市のグリーンアノール確認地点周辺の公民館 10 箇所、コンビニ 47 箇所にてポスターの掲示依頼及び利用者へのチラシ配布依頼を行った（図 2-3-1.2）。喜仲公民館においては、区民約 600 世帯にチラシ及び目撃情報を記入するアンケート用紙を配布いただき、情報収集を実施した。また、うるま市及び沖縄市のコンビニ 47 箇所にて店内にポスターを掲示いただくよう依頼した。

今年度は喜仲住宅地における目撃情報が 6 月に 1 件寄せられた（情報提供者の協力が得られず詳細を聞くことはできなかった）が、その他の目撃情報はなく、今後も情報収集を実施し、分布の把握に努める。

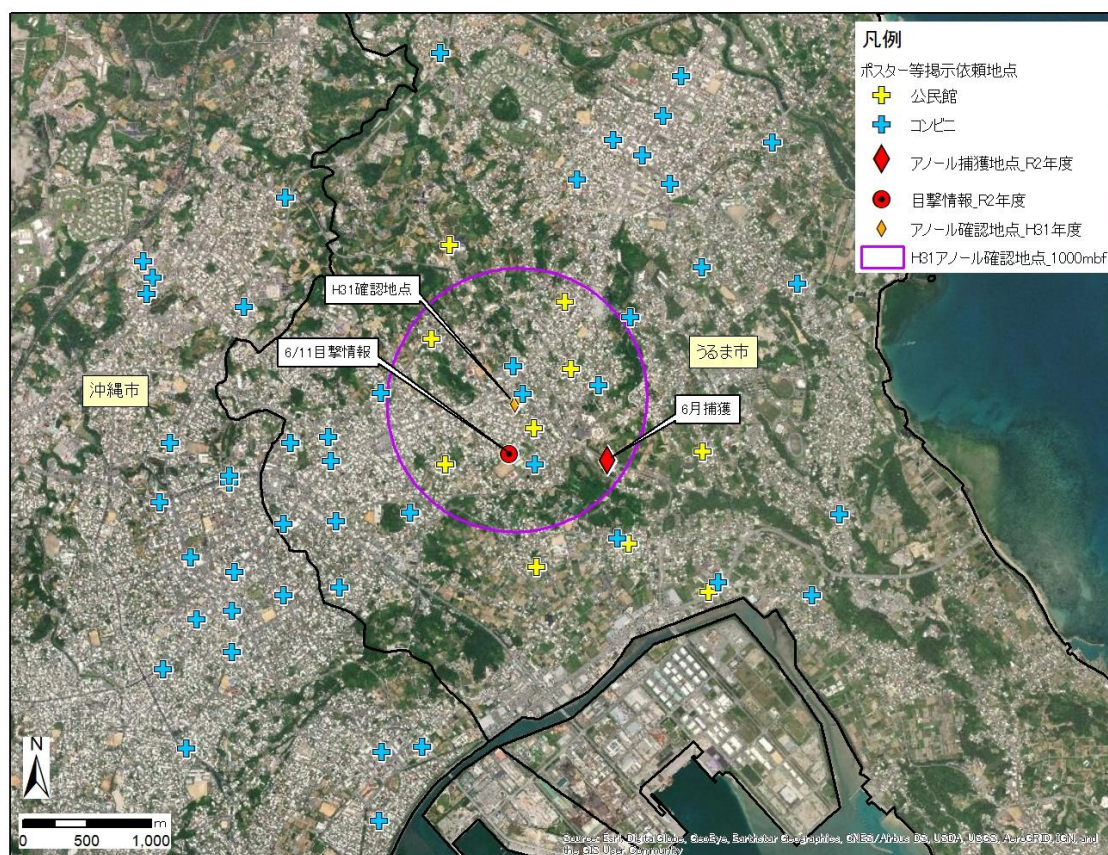


図 2-3-1.2 チラシ配布・ポスター掲示依頼地点

## 2-3-2. 目撃情報地点及びその周辺におけるトラップ調査

### (1) 目撃情報

今年度寄せられたグリーンアノール目撃情報を表 2-3-2.1、図 2-3-2.1 に示した。

今年度は 11 件の目撃情報があり、うち 7 件が那覇市となり、南風原町、八重瀬町、糸満市、うるま市で 1 件ずつの情報が寄せられた。

情報地点のうち那覇市 2 件 (No. 1、3) で粘着トラップを提供し、那覇市 2 件 (No. 4、5) 及び八重瀬町 1 件 (No. 9) でトラップ調査を実施した。

表 2-3-2.1 目撃情報一覧

No.	市町村	地区	情報提供日	発見者	情報信頼度	発見日	個体数	備考	現地調査
1	那覇市	首里	2020/4/27	個人	高	不明	多数	130坪の家の庭にいる	トラップ提供
2	那覇市	田原	2020/8/7	個人	高	2020/8/7	1	のど袋があり、頭がとがっていた	未実施
3	那覇市	松島	2020/9/10	個人			複数		トラップ提供
4	那覇市	小禄	2020/9/4	個人	高			赤いのだ袋	トラップ調査
5	那覇市	首里	2020/9/29	個人	高	2020/9/28	1	写真あり おそらくメス個体	トラップ調査
6	那覇市	首里	2020/11/13	個人	高	2020/11/13	2	捕獲個体引き取り(オス2個体)	未実施
7	那覇市	小禄	2021/3/10	那覇市職員	高	2021/3/10	2	その場で捕獲し殺処分	未実施
8	南風原	新川	2020/11/10	個人				発見・捕獲 安楽殺勧め了承いただいた	未実施
9	八重瀬	新城	2020/11/2	個人	高	2020/9/24	1	写真あり	トラップ調査
10	糸満市	西崎	2020/7/1	保育園	高	2020/6/30	1	捕獲個体引き取り(オス1個体)	未実施
11	うるま市	喜仲	2020/6/11	個人		2020/6/10	1		未実施



図 2-3-2.1 目撃情報地点

## (2) 目撃地点におけるトラップ調査概要

### a) 調査地及び調査方法

調査は、表 2-3-2.1 における No. 4 の那覇市小禄の民家、No. 5 の那覇市首里の末吉公園付近に位置する飲食店及び末吉公園内、No. 9 の八重瀬町新城の造園会社農園の計 4 か所で粘着トラップによる捕獲を実施した。末吉公園については面積が広く、時期も 10 月であったため、駐車場周辺のみで調査を実施した。点検はそれぞれ 2 回から 5 回実施し、その後トラップは回収した。

### b) 調査結果

調査を実施した 4 地点すべてで捕獲される結果となった (表 2-3-2.2)。末吉公園においてはこれまでも目撃情報があったが、調査において捕獲されたのは初めてであり、No. 5 の飲食店と末吉公園周辺は大きな緑地環境となっているため高密度になった場合、対策が困難になると考えられる。

また、No. 9 の八重瀬町造園会社農園においても 3 個体捕獲され、うち 1 個体は幼体で繁殖しているものと考えられる。この造園会社の事務所自体は那覇市宇栄原にあり、宇栄原はグリーンアノール高密度エリアに位置し事務所の庭木にも生息していると考えられ、ここから運ばれた可能性が高い。この場所で定着していた場合、分布の南限となるため早急な対策が必要である。

表 2-3-2.2 トラップ調査結果

情報No.	設置場所	地域	設置日	わな数	捕獲数	TD	CPUE	備考
4	民家	那覇市	9月30日	4	1	84	1.190	豊見城市との境界付近
5	飲食店	那覇市	10月2日	8	2	656	0.305	末吉公園付近
-	末吉公園	那覇市	10月15日	87	2	6,003	0.033	
9	造園会社	八重瀬町	11月10日	42	3	1,764	0.170	



## 2-4. 拡散の防止

### 2-4-1. 物流センター周辺における拡散防止対策

#### (1) 目的

グリーンアノールは、物資への潜り込みや車両等への付着による人為的な分布拡散が危惧されている。そこで、本種の高密度生息地域内で、特に人為的な分布拡散リスクが高いと考えられる物流センター（豊見城市）及びその周辺において分布拡散防止に向けた対策を実施した。

#### (2) 調査方法

調査は粘着トラップを使用し、物流センターの敷地内、隣接する建築事務所及び周辺河川沿いに設置した。設置環境については、敷地内及び建築事務所は植木及びフェンス、河川沿いはギンネム及びガードレールとした。

粘着トラップの設置は平成 28 年 10 月から開始し、随時増設撤去を行い、令和 2 年度は敷地内 183 台、河川沿い 660 台、建築事務所 80 台の計 923 台トラップが設置されている。

また、令和 2 年 4 月に河川沿いにおいて物流センター前の樹木をすべて伐採することにより、グリーンアノールの生息環境を消失させると同時に拡散防止に努めた。

今年度のトラップの点検は月 1 回実施した（平成 31 年度は 5 月及び 11 月の年 2 回に 2 週間分の捕獲数を記録）。

#### (3) 結果

物流センター敷地内及び周辺河川沿いにおけるグリーンアノール捕獲状況の推移、グリーンアノール捕獲地点を示した（表 2-4-1.1、表 2-4-1.2）。

令和 2 年度は 297,473TD をかけ物流センター敷地内で 2 個体、建築事務所で 12 個体、河川沿いで 197 個体の計 211 個体が捕獲され CPUE は 0.071 となった。

CPUE を比較すると、平成 31 年度から約 72%の減少しており、捕獲を始めた平成 28 年度からは約 77%の減少がみられた。各年度により点検頻度は異なるが、今年度の捕獲数は過去 5 年で最も多い 211 個体となっており、依然として捕獲数が多い。

捕獲地点をみると、平成 31 年度は物流センター前のギンネムでの捕獲が多数あったが、今年度は伐採の効果により捕獲が減り、物流センター前はガードレールで少数が捕獲されたのみであった。

一方、河川沿いでは捕獲が多い状態が続いており、生息数が維持されている、もしくは流入が多数ある状態が続いていると推測される。また、現在物流センターの拡張工事が行われており 2022 年 3 月に完成予定との事である。このエリアの目の前の河川沿いにおいてもグリーンアノールが多数捕獲されており、拡張工事中の工事車両による拡散や完成後の物流車両による拡散も懸念されるため早急な対策が必要である。しかし、トラップ数を大幅に増やすのは労力的に現状では難しいため、河川沿いのギンネムの伐採など他の方法についても検討する必要がある。

表 2-4-1.1 令和2年度捕獲状況

設置場所	令和2年度											計
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
敷地内	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
建築事務所内	2	0	2	0	0	5	3	0	0	0	0	12
河川沿い	18	13	6	50	34	40	11	3	3	2	17	197
計	20	13	8	50	34	46	14	3	4	2	17	211
TD	24,871	14,903	32,114	38,044	26,403	16,200	41,667	25,437	31,171	27,840	18,823	297,473
CPUE	0.080	0.087	0.025	0.131	0.129	0.284	0.034	0.012	0.013	0.007	0.090	0.071

表 2-4-1.2 年度別グリーンアノール捕獲状況の推移

設置場所	令和2年度 わな数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	総計
		10~3月	4~3月	4~3月	5・11月	5~3月	
敷地内	183	22	0	1	2	2	27
建築事務所内	80	8	5	1	2	12	28
河川沿い	660	54	21	53	53	197	378
計	923	84	26	55	57	211	433
TD	-	27,508	185,252	34,640	22,881	297,473	567,754
CPUE	-	0.305	0.014	0.159	0.249	0.071	0.076

## 2-4-2. 豊見城総合公園及び周辺地域での拡散防止対策

### (1) 目的

豊見城総合公園においてはこれまでも生息情報が得られているが、樹林が多く詳細な生息範囲や生息密度などは不明である。そこで、平成 29 年度より分布域の把握のため捕獲調査を実施してきた。また、豊見城総合公園は車での来園者も多く、近くに高速 IC もあるため、拡散防止対策として粘着トラップによる防除を行った。

### (2) 調査方法

豊見城総合公園の敷地内及びその周辺に広域的にラップ型粘着トラップを設置した。設置環境については公園内の樹木、河川沿いのギンネム等とした。今年度は、これまでの捕獲地点から捕獲が多かった公園北側の駐車場周辺にトラップを増設し、河川沿いで捕獲がない地点については撤去を行い、計 703 台のトラップを設置した。記録は 5 月、8 月、11 月の年 3 回、約 2 週間あたりの記録を取ることにした。

### (3) 結果

捕獲種一覧、捕獲状況の推移、グリーンアノール捕獲地点、混獲地点を示した（表 2-4-2.1、表 2-4-2.2、図 2-4-2.1～図 2-4-2.3）。

グリーンアノールは 5・8・11 月の 3 回の点検で 42,604TD をかけ 39 個体捕獲され、CPUE は 0.092 となった。平成 30 年度から平成 31 年度までは CPUE が横ばい状態であったが、今年度の CPUE は平成 31 年度より 44%減少する結果となった。

小禄地区と比較しても、CPUE は低い値となっており、小禄地区ほど高密度にはなっていないと考えられる。また、他地域と大きく異なり、アオカナヘビが 129 個体（CPUE：0.303）、オキナワキノボリトカゲが 224 個体（CPUE：0.526）など在来のトカゲ類がグリーンアノールよりも多数捕獲された。

捕獲地点については昨年度と同様に公園北側の駐車場を中心に広く認められた。特に、川の対岸の駐車場から離れた地点でも捕獲されており、これらの地域は森林（ギンネム等）が広がっており、トラップの設置が困難なエリアを多く含んでいる。これら未調査地域では広く生息している可能性があるため、今後、本格的な対策を行うのであれば、関係機関と調整して草刈りや伐採を行い、川沿いのフェンス等の構造物にもトラップを設置し生息状況を調査していく必要がある。また、継続して捕獲のない地点についてはトラップの撤去を行い在来種の混獲を減らせるよう検討する。

表 2-4-2.1 令和 2 年度捕獲状況

No.	科	捕獲種	R2年度(5月)		R2年度(8月)		R2年度(11月)		令和2年度合計		備考
			捕獲数	CPUE	捕獲数	CPUE	捕獲数	CPUE	捕獲数	CPUE	
1	イグアナ科	グリーンアノール	16	0.085	6	0.061	17	0.120	39	0.092	外来種
2	カナヘビ科	アオカナヘビ	27	0.144	57	0.579	45	0.317	129	0.303	
3	アガマ科	オキナワキノボリトカゲ	45	0.240	99	1.006	80	0.564	224	0.526	
4	ヤモリ科	ホオグロヤモリ	8	0.043	26	0.264	56	0.395	90	0.211	外来種
5		ミナミヤモリ	28	0.150	50	0.508	168	1.185	246	0.577	
6		オンナダケヤモリ	0	0.000	2	0.020	3	0.021	5	0.012	
		ヤモリsp.	335	1.790	230	2.337	401	2.827	966	2.267	
7	ナミヘビ科	アカマタ	2	0.011	0	0.000	1	0.007	3	0.007	
8	メクラヘビ科	ブラーミニメクラヘビ	3	0.016	3	0.030	5	0.035	11	0.026	外来種

表 2-4-2.2 捕獲状況の推移

捕獲種	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度	
	捕獲数	CPUE	捕獲数	CPUE	捕獲数	CPUE	捕獲数	CPUE
グリーンアノール	5	0.253	110	0.154	54	0.165	39	0.092
アオカナヘビ	10	0.505	149	0.209	98	0.299	129	0.303
オキナワキノボリトカゲ	12	0.606	279	0.391	265	0.808	224	0.526
ホオグロヤモリ	111	5.606	326	0.457	109	0.332	90	0.211
ミナミヤモリ	103	5.202	983	1.378	805	2.455	246	0.577
オンナダケヤモリ	0	0.000	0	0.000	1	0.003	5	0.012
ヤモリsp.	144	7.273	2,194	3.075	794	2.421	966	2.267
アカマタ	0	0.000	9	0.013	7	0.021	3	0.007
ブラーミニメクラヘビ	1	0.051	14	0.020	8	0.024	11	0.026

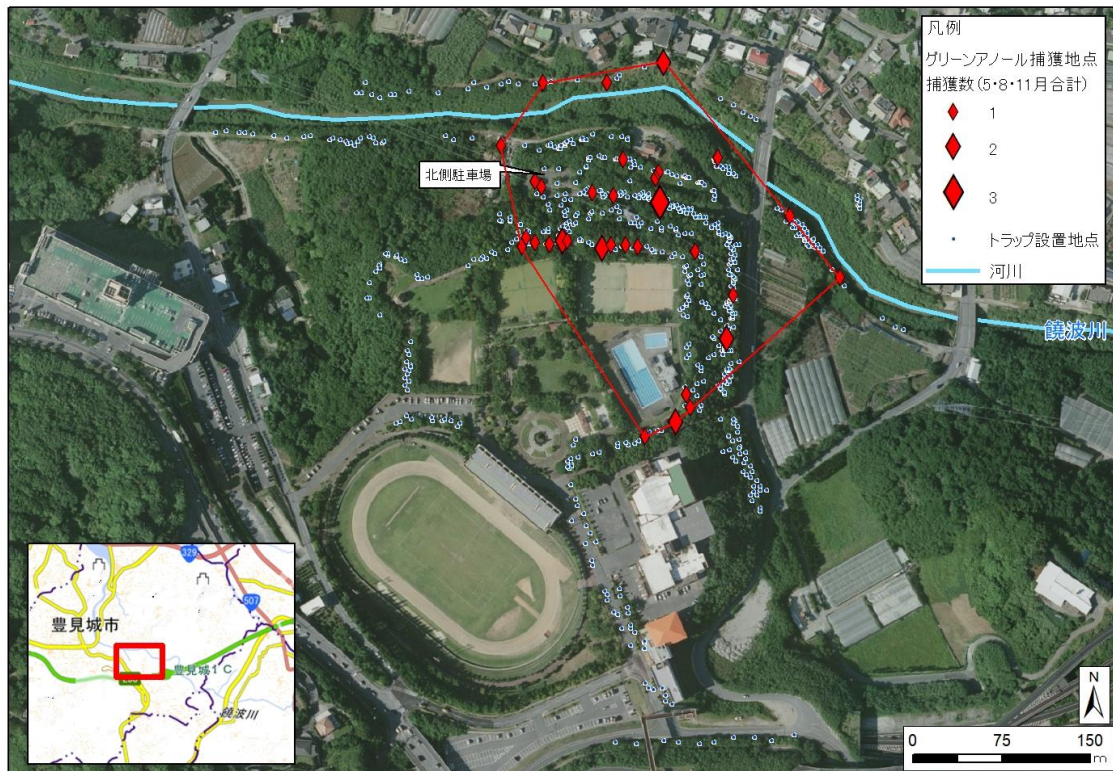


図 2-4-2.1 令和 2 年度グリーンアノール捕獲地点 (5 月、8 月、11 月)

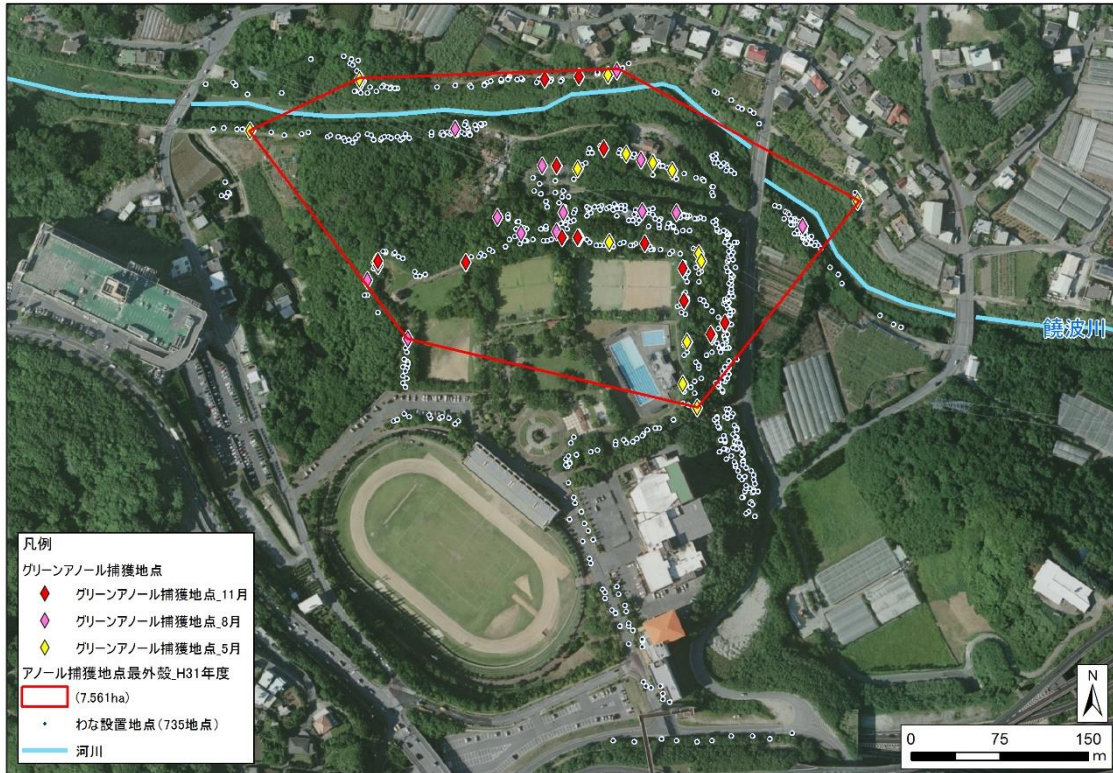


図 2-4-2.2 平成 31 年度グリーンアノール捕獲地点

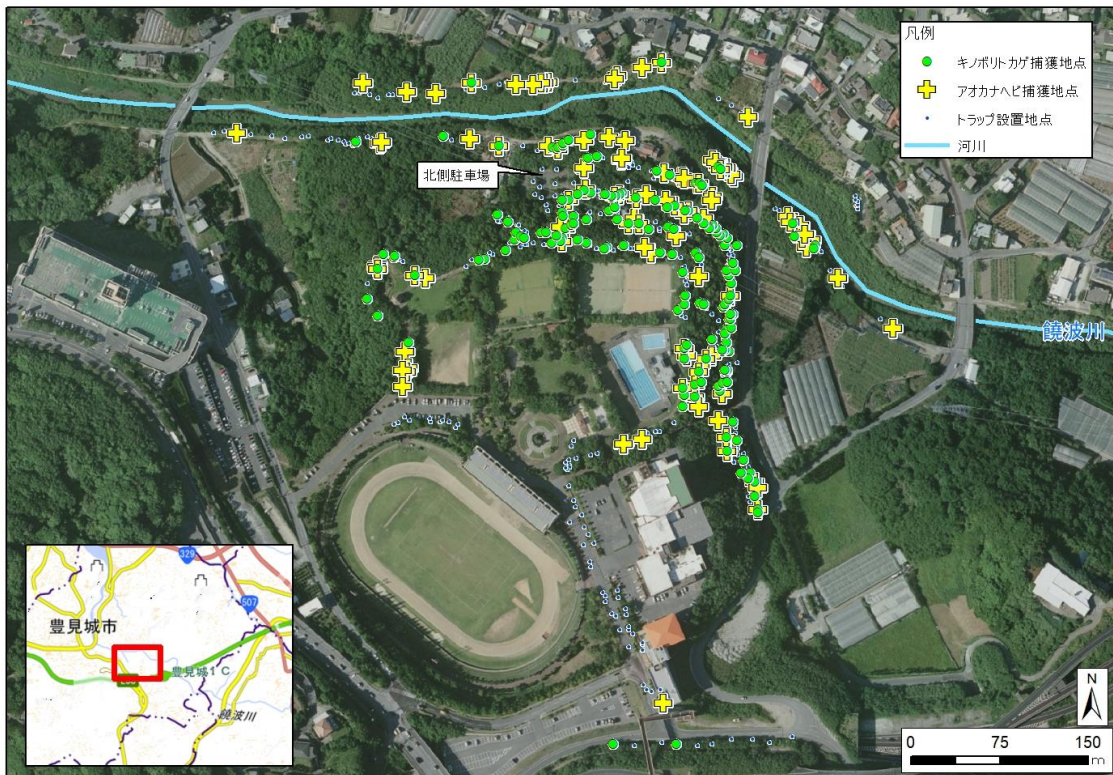


図 2-4-2.3 令和 2 年度混獲地点 (オキナワキノボリトカゲ、アオカナヘビ)

## 2-5. 沖縄島における生息密度分布

### 2-5-1. 目的

これまで沖縄島各地で実施した捕獲試験のデータを用いて、現状での分布状況を把握した。

### 2-5-2. 調査方法

令和2年度及び平成28年度～平成31年度までの粘着トラップによる捕獲データを市町村別に集計した。また、GISを用いて100m四方の任意のグリッドを作成し、グリッドごとにCPUEを算出した。

### 2-5-3. 調査結果

令和2年度結果を表2-5-3.1、図2-5-3.1、図2-5-3.3に示した。また、参考データとして平成28年度から平成31年度までの結果を表2-5-3.2、図2-5-3.2、図2-5-3.4に示した。

今年度は4市町村で調査を実施し、市町村別では那覇市で1,906個体が捕獲されCPUEが0.263と最も高い値となった。次いで八重瀬町で3個体(CPUE0.170)、豊見城市で250個体(CPUE0.074)、うるま市で1個体(CPUE0.001)となった。

また、調査したグリッド数は計529となり、グリーンアノールの捕獲が確認されたのは那覇市94グリッド、豊見城市22グリッド、八重瀬町及びうるま市で1グリッドずつの計118グリッドとなった。これまでと同様に那覇市において捕獲グリッドが多い結果となった。那覇市西部の小禄地区はCPUEが特に高いグリッドが面的にみられることから沖縄島における分布の中心と考えられる。

昨年度までの捕獲調査において八重瀬町ではグリーンアノールは確認されていなかったが、今年度初めて確認される結果となった。また、昨年度初めてグリーンアノールが確認されたうるま市においては今年度広範囲にわたり調査を実施したが1個体みの捕獲となった。

平成31年度、令和2年度とこれまで確認のなかった地域でも目撃情報や捕獲があることから、徐々に分布を拡大している可能性も考えられ、今後も情報収集と詳細な分布調査を継続していく必要がある。

表 2-5-3.1 市町村別の全捕獲状況（令和2年度）

市町村	TD	捕獲数	CPUE
那覇市	724,013	1,906	0.263
豊見城市	340,077	250	0.074
八重瀬町	1,764	3	0.170
うるま市	154,379	1	0.001
合計	1,220,233	2,160	0.177

表 2-5-3.2 市町村別の全捕獲状況 (H28~H31 年度)

市町村	TD					捕獲数					CPUE				
	H28	H29	H30	H31	合計	H28	H29	H30	H31	合計	H28	H29	H30	H31	合計
那覇市	260,260	376,982	402,431	443,158	1,482,831	1,971	1,428	2,360	2,976	8,735	0.757	0.378	0.583	0.672	0.589
豊見城市	27,508	191,036	105,997	68,959	393,500	84	43	165	126	418	0.305	0.023	0.156	0.183	0.106
糸満市	0	3,895	0	702	4,597	-	1	-	0	1	-	0.026	-	0.000	0.022
八重瀬町	0	546	0	0	546	-	0	-	-	0	-	0.000	-	-	0.000
南城市	0	1,108	0	520	1,628	-	0	-	0	0	-	0.000	-	0.000	0.000
南風原町	0	719	0	0	719	-	0	-	-	0	-	0.000	-	-	0.000
与那原町	0	494	0	0	494	-	0	-	-	0	-	0.000	-	-	0.000
浦添市	2,236	0	0	0	2,236	0	-	-	-	0	0.000	-	-	-	0.000
西原町	663	0	0	0	663	0	-	-	-	0	0.000	-	-	-	0.000
宜野湾市	154	0	0	0	154	0	-	-	-	0	0.000	-	-	-	0.000
北中城村	896	0	0	0	896	0	-	-	-	0	0.000	-	-	-	0.000
北谷町	1,301	0	0	0	1,301	0	-	-	-	0	0.000	-	-	-	0.000
沖縄市	2,354	0	0	0	2,354	0	-	-	-	0	0.000	-	-	-	0.000
うるま市	0	0	0	1,729	1,729	-	-	-	1	1	-	-	-	0.058	0.058
名護市	1,139	0	0	1,120	2,259	0	-	-	0	0	0.000	-	-	0.000	0.000
合計	296,511	576,047	510,899	516,188	1,899,645	2,055	1,472	2,525	3,103	9,155	0.693	0.256	0.494	0.601	0.482

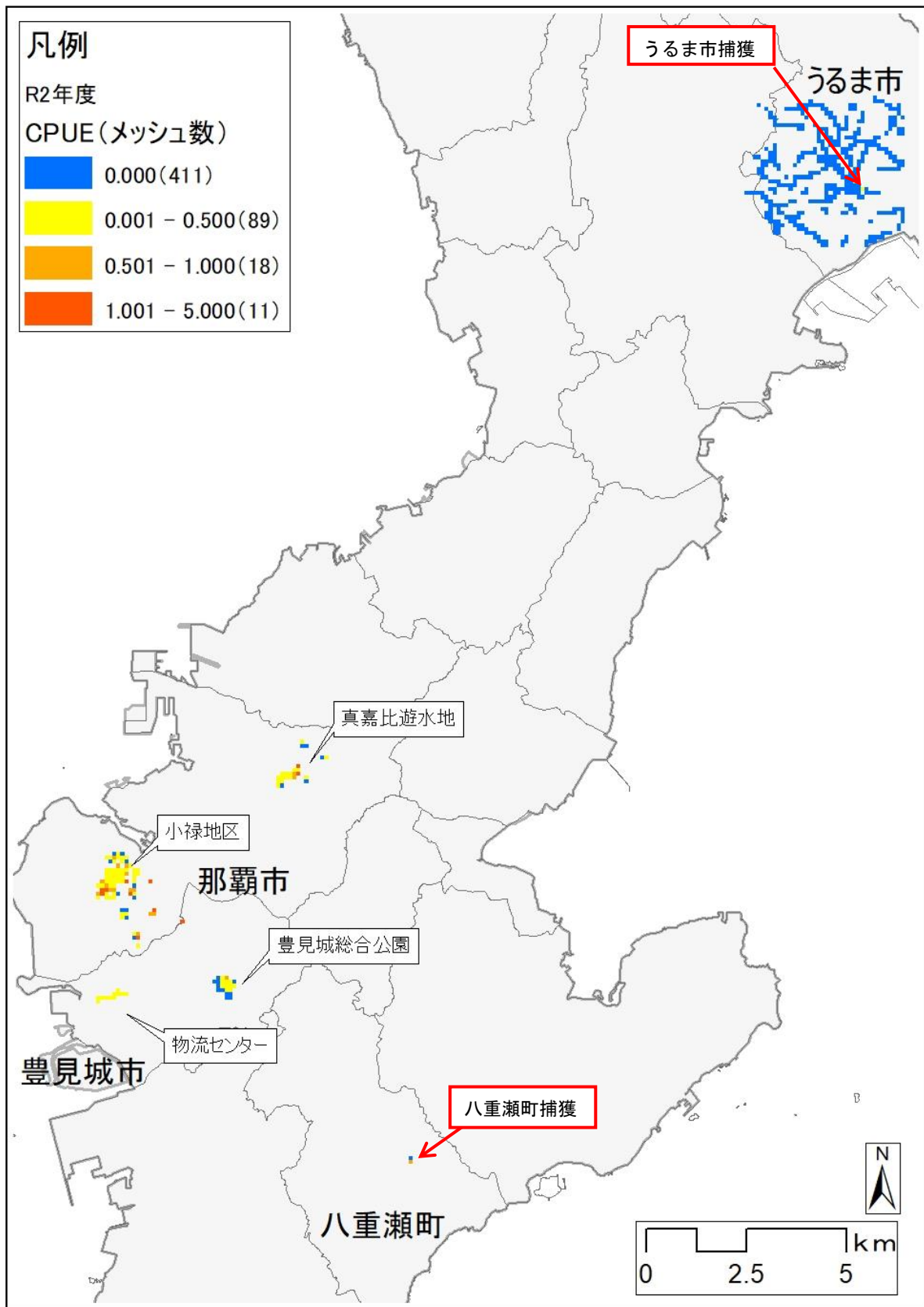


図 2-5-3.1 調査グリッド及び捕獲 CPUE (令和 2 年度)



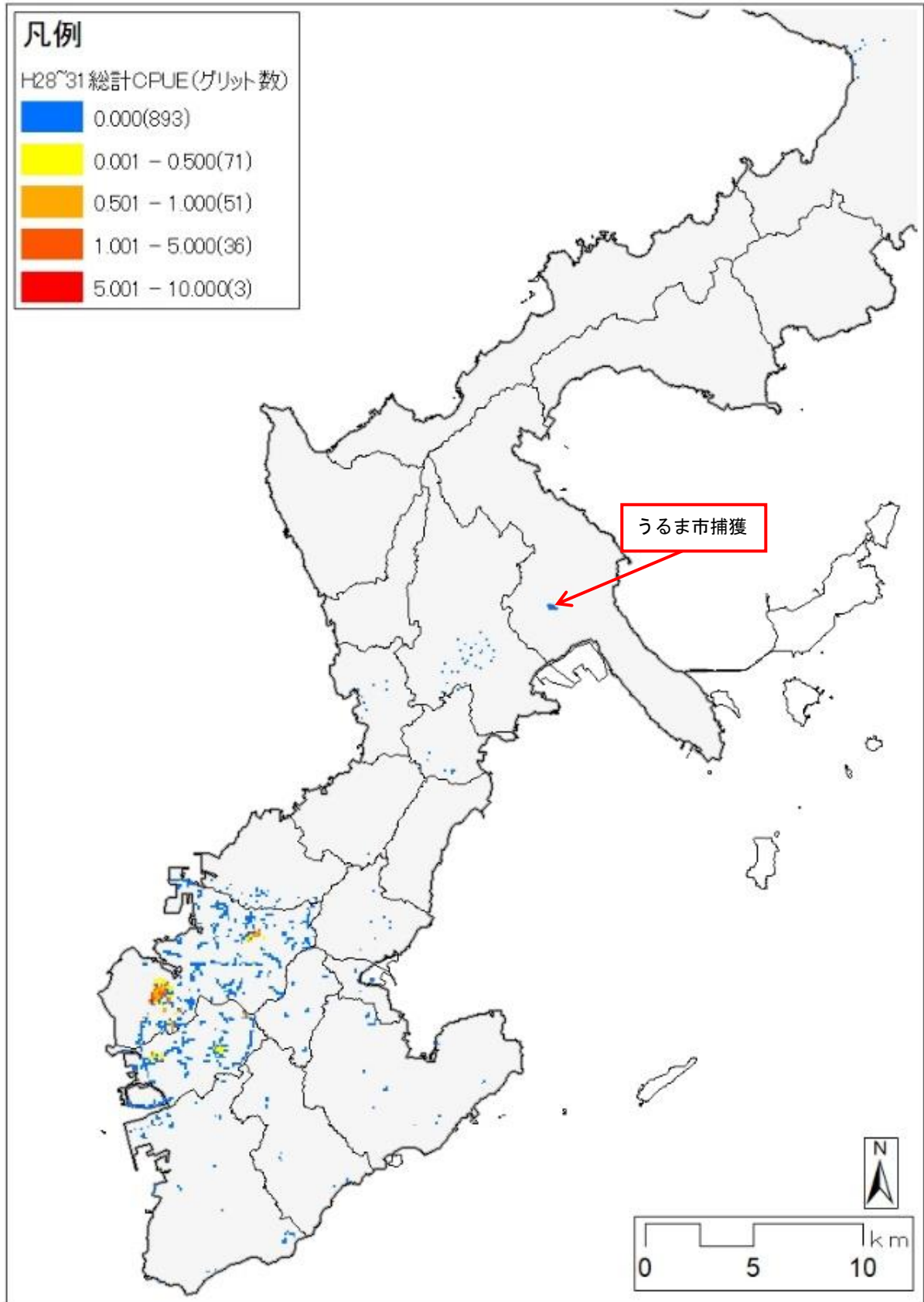


図 2-5-3.2 調査グリッド及び捕獲 CPUE (H28~H31 年度)

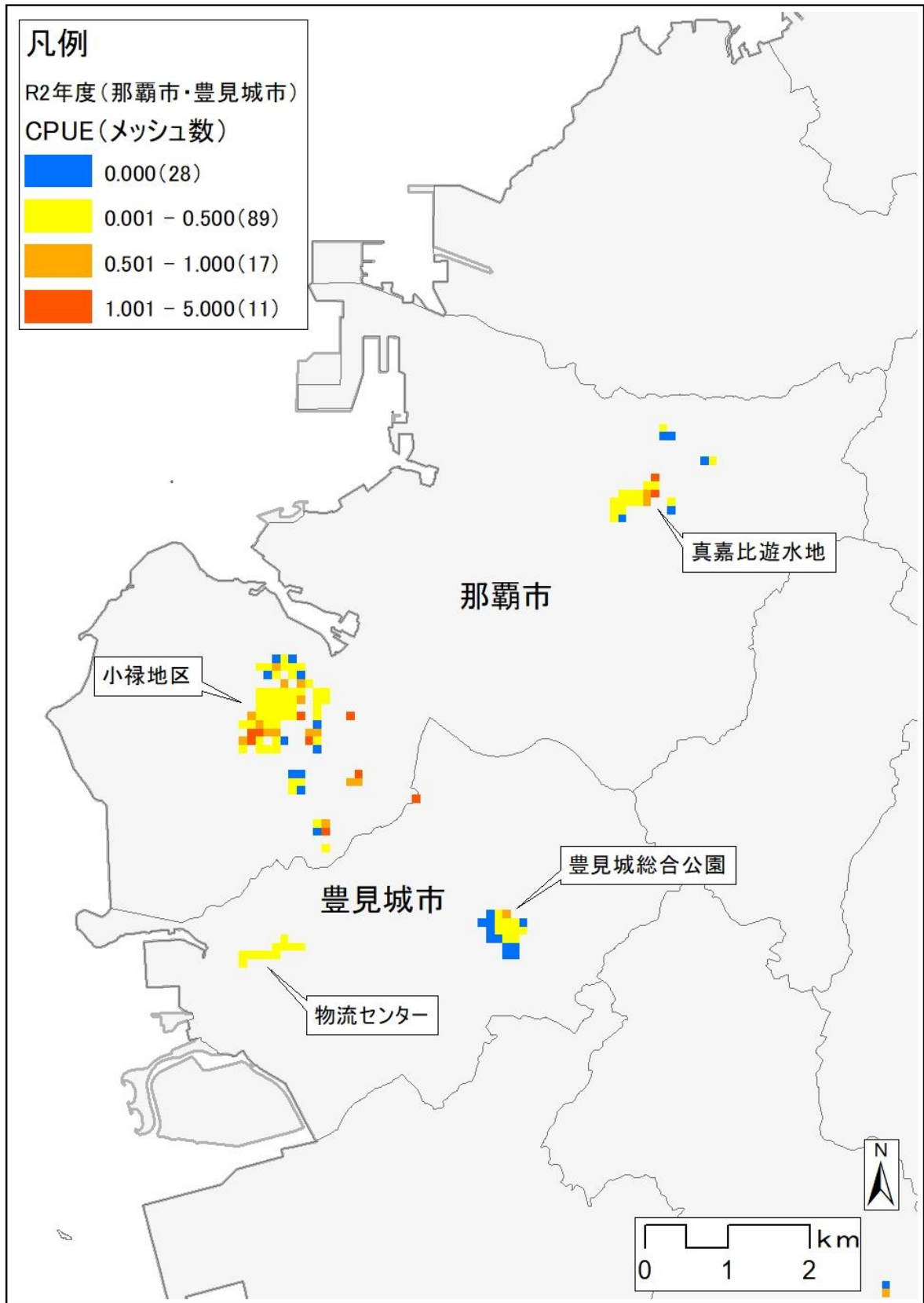


図 2-5-3.3 高密度エリア調査グリッド (令和 2 年度)

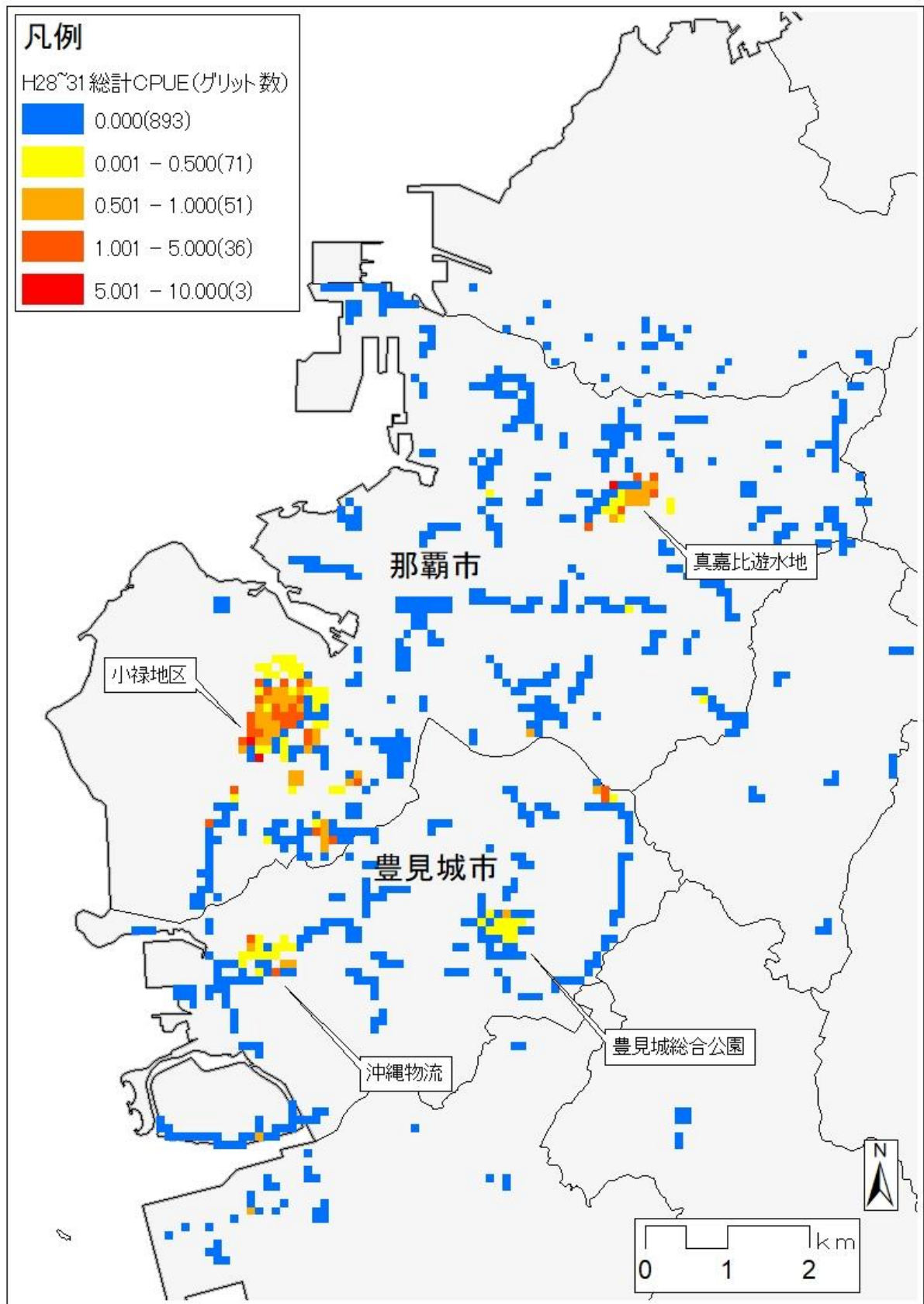


図 2-5-3.4 高密度エリア調査グリット (H28~H31 年度)

## 2-6. 地域の防除体制構築

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント等の対面での普及啓発が実施できなかったため、グリーンアノール及びその他沖縄の外来生物に関する普及啓発ポスター（図 2-6.1～2：A2 サイズ 3 枚 1 セット）を作成し、そのポスターを展示することで小学生及びその保護者を対象に普及啓発を行った。

作成したポスターは、小禄金城地域の児童館 2 か所、学童に 6 か所の計 8 か所に配布・展示を行った（表 2-6.1）。

表 2-6.1 ポスター詳細

展示期間	対象	配布場所	内容
2月～3月	小学生及び保護者	小禄金城地域 ・児童館（2か所） ・学童等（6か所）	・グリーンアノールの生態 ・グリーンアノールの分布 ・見つけた際の対処 ・沖縄のその他の外来種



図 2-6.1 ポスター（1～2 枚目）



図 2-6.2 ポスター（3 枚目）



写真 2-6.1 ポスター設置状況（金城児童館）

## 2-7. 今後の展開

今年度実施した定着地域での防除では、小祿地区、那覇市公園、真嘉比遊水地のいずれにおいても CPUE の低下がみられた。また、拡散の防止として捕獲を実施してきた豊見城総合公園や物流センターにおいても CPUE の低下がみられ、これまで継続してきた高い捕獲圧による効果が表れていると考えられる。しかし、一方で昨年度初めて確認されたうるま市に続き、今年度は新たに八重瀬町で複数の個体がトラップにより確認された。さらに真嘉比遊水地の北側に位置する首里末吉町では末吉公園など新たに複数の地点で確認があり、那覇市内においても分布が拡大している可能性が考えられた。

このように、現状の捕獲圧では防除対象地域での一定の減少効果はみられるものの、沖縄島全体における拡散防止の観点からは十分とは言えず、分布拡散が徐々に進行している可能性が考えられる。そのため、本事業におけるトラップ捕獲だけでなく、多様な主体と連携しながら県民全体を巻き込む形での防除体制の構築が必要であると考えられる。以下、次年度の計画案を示す。

### ① 定着地域での防除

小祿地区、那覇市公園、真嘉比遊水地での防除は、次年度も継続して高い捕獲圧をかける。

### ② 分布調査

うるま市喜仲地区、八重瀬町新城、那覇市末吉公園及びその周辺では次年度詳細な分布調査を行う。特に、北限にあたるうるま市喜仲地区は根絶を目標とした防除を最優先課題とする。

### ③ 拡散の防止

物流センター及び豊見城市総合公園での防除は次年度も継続する。物流センターは拡張工事に伴い拡散リスクが増すことが懸念されることから新たに対策を検討する。また、豊見城総合公園では継続的にアノールが捕獲されていないエリアでの捕獲は実施せず、在来種混獲リスクの軽減とより効率的な捕獲を目指す。

### ④ 地域の防除体制構築

インターネットやメディアを活用した普及啓発、情報収集を検討するとともに、地域住民が主体となって参画できるよう捕獲キット（解説書と粘着トラップのセット）の開発・配布を検討する。うるま市喜仲や末吉公園周辺は住宅地であり、捕獲キットを希望者に配布することができれば住民による捕獲や情報提供が主体的になされ、非常に有用であると考えられる。また、小祿地区や真嘉比遊水地周辺の住宅地でも捕獲キットを住民に配布することができれば、拡散防止の観点からも効果が期待できる。新型コロナウイルスの流行により事業者による民家での捕獲が今後も難しい可能性があることから捕獲キットの開発・配布が必要であると考えられる。

また、小祿地区に隣接する自衛隊基地においても捕獲の協力を依頼し、早急に防除を実施することが望まれる。さらに、今年度調査では造園業者によるものと思われる分布拡散が確認されたことから、高密度生息域における造園業者に対しては優先的に周知・普及啓発を推進することが望まれる。